

(4) 第68次千葉県教育研究集会

レポートの作成について

1. 規 格

- (1) 規 格 A4判 (縦297mm×横210mm)
- (2) 書 式 *全分科会とも、横書き(左綴じ)とします。
*1ページの余白は、上20mm、下・左右25mmです。
- (3) 文字の大きさと字数
*文字の大きさは、10ポイント～10.5ポイント
*1ページの字数は、1680字(42文字×40行)以内。
表紙を含めて11ページ以内(6枚)に収めて下さい。

※ただし、上記ページ数に収まらない場合のみ、「子どもの作品・図表・写真等」を『資料』(20ページ以内)とすることができます。
その場合は、本文部分の後ろに色上質紙等を1枚はさんで、一緒に綴じて下さい。

※提案資料+資料で31ページまで

(注)

「全国教研」参加となった場合は、『資料』部分を、別冊資料として作成していただくことになります。

2. 製 本

(1) 表 紙

【別紙「第68次千葉県教育研究集会 レポート表紙・記載例(A)」を参照のこと】

- ① 表紙は、色上質の特厚口を付け、2カ所を綴じて下さい。
- ② 整理の都合上、下記事項を記載して下さい。
 - 「第68次千葉県教育研究集会」……左上に記載
 - 「分科会名(分散会名)」……左上・上記集會名の下に記載
 - 「支部番号」……右上に記載(下記参照)
 - 「研究テーマ(サブテーマ)」……中央上部に記載(目立つように)
 - 「レポート内容の骨子」……

1. 設定理由	} レポートの内容が、ひと目でわかるよう、骨子を左の4本の柱に沿って、簡潔に記載する。
2. 研究仮説	
3. 研究内容	
4. 結 論	
 - 「分科会番号」……左下に記載(下記参照)
 - 「支部名・分会名・名前」……右下に記載
 - ※名前は、「提案者」「共同提案者」の順に記載すること。
 - ※支部名・・・「印旛」 分会名・・・「学校名」

《支部番号》

千葉市	1	船 橋	2	市川市	3	松戸市	4	東 葛	6
印 旛	7	香 取	8	東 総	9	山 武	10	長 生	11
夷 隅	12	安 房	13	君 津	14	市原市	15		

《分科会番号》

分科(散)会名	分科会 番 号	分科(散)会名	分科会 番 号
国語教育（言語活動と言語の教育）	1－1	自治的諸活動と生活指導（小学校）	10－1
国語教育（作文教育）	1－2	自治的諸活動と生活指導（中学校）	10－2
国語教育（文学教育）	1－3	幼年期の教育と保育問題	11
国語教育（書写教育）	1－4	人権教育	12
外国語教育（小学校）	2－1	特別支援教育	13
外国語教育（中学校）	2－2	両性の自立と平等をめざす教育	14
社会科教育（小学校）	3－1	環境問題と教育	15
社会科教育（中学校）	3－2	平和、国際連帯の教育	16
数学教育（小学校）	4－1	情報化社会と教育・文化活動	17
数学教育（中学校）	4－2	選抜制度と進路保障・キャリア教育	18
理科教育（小学校）	5－1	民主的学校づくり	19
理科教育（中学校）	5－2	教育条件整備の運動	20
美術教育	6	地域との連携	21
音楽教育	7	生 活 科	22
技術・家庭科教育（技術教育）	8－1	教育課程	23
技術・家庭科教育（家庭科教育）	8－2	総合学習	24
保健・体育（保 健）	9－1	食 教 育	25
保健・体育（体 育）	9－2		

（2）印刷の留意事項

- ・ホチキスで、2カ所綴じて下さい。
- ・両面印刷、袋とじ印刷、いずれでも結構です。
- ・図表や作文のコピー等は鮮明に印刷して下さい。

3. レポート作成上の表記・表現について

レポートを作成する際の表記・表現については、下記事項を特に留意の上、作成して下さい。

- ① 文章は「常用漢字」「新かなづかい」を用い、「である」調で書くこと。
- ② 表現・表記について

表現 * 「教師」→「教職員」または「教員」

 * 「親」→「保護者」

 * 「机間巡視」→「机間指導」

 * 「1名、2名」→「1人、2人」

 * 「氏名」→「名前」

- 表記
- | | |
|-------------------|------------------|
| * 「子ども達」→「子どもたち」 | * 「1つ目」→「1つめ」 |
| * 「友達」→「友だち」 | * 「一人一人」→「一人ひとり」 |
| * 「自分達」→「自分たち」 | * 「目指す」→「めざす」 |
| * 「子供」→「子ども」 | * 「基に」→「もとに」 |
| * 「兄弟、姉妹」→「きょうだい」 | * 「大人」→「おとな」 |
| * 「同士」→「どうし」 | * 「取り組み」→「とりくみ」 |
| * 「,」→「、」 | |

*** 差別用語、差別表現については、特段の配慮をすること。**

- ③ 年号は西暦とする。ただし、元号が必要な場合は（ ）書きで入れること。

[例] 2018年（平成30年）

- ④ 個人名・住所等、プライバシーに関わる記載については十分注意し、個人が特定できないよう配慮すること。

* 文章中の個人名は、登場順に「A」「B」「C」…とすることが望ましい。

* イニシャルは個人特定につながるため、おこなわない。

* 「Aさん」「B君」など、性別を連想させる表現はおこなわない。

* 実名を使う場合の人の名前は「さん」づけにする。（実名を使用する場合は許可が必用）

- ⑤ 写真など肖像権を侵害する恐れのあるものは、必ず本人の承諾を得ること。

- ⑥ 子どもの作品（日記、作文等）や保護者の手紙などの掲載に当たっては、本人の承諾を得ること。

- ⑦ 著作権に関わるものの掲載に当たっては、必ず掲載許可を得ること。

- ⑧ 引用文については、出典を明記すること（新聞記事についても同様）。

4. 印刷部数

○通常の分科会……………63部

○下記の分科会

* 9-1. 保健・体育（保健）……………73部

* 11. 幼年期の教育と保育問題……………73部

* 25. 食教育……………73部

* 9-2. 保健・体育（体育）……………83部

* 14. 両性の自立と平等をめざす教育…83部

* 20. 教育条件整備の運動……………103部

※提出期間9月13日（木）～21日（金）

※支部に提出していただく時に提出分の42部は3部ずつ輪ゴムでまとめ14束にしてください。例）全63部提出 42部（3部×14束）+21部（輪ゴムでまとめない）

※今後の印旛教育の発展のため、提出していただいたレポートは印教研ホームページにアップさせていただきます。ご不明な点がある場合は事務局まで。

※県教研当日にレポートを持ち込むことはできません。

第68次千葉県教育研究集会 レポート表紙・記載例(A)

【A4判・縦型 余白は、上2cm、下・左右2.5cm】

第68次千葉県教育研究集会

分科(散)会名を記載

第1分科会 国語教育(言語活動と言語の教育)

2cm

(支部番号)

7

2.5cm

2cm 四方の
正方形

レポートのテーマと
サブテーマを記載

伝え合う力を育てる国語学習の工夫

—「いっぱい聞いて いっぱい話そう ○○！」の活動を通して—

レポートの内容がひと目でわかるように、
右の4本の柱に沿って簡潔に記載すること。

1. 設定理由

人間が人間らしく成長していく上で、「言語」は重要な役割を果たしている。しかし、子どもたちの言語生活を見ると、おしゃべりは好きだが、みんなの前でうまくいかない子どもも多く見られるようになってきた。

そこで、子どもたちの身近にあり興味を持ち始めた地域を教材にして、学習活動を工夫し実践することで、伝え合う活動の楽しさを感じ、豊かに表現できる児童を育成したいと考え、本主題を設定した。

2. 研究仮説

地域の文化や歴史を調べ、地域への愛着について交流することを通して、豊かに伝え合うことのできる子どもが育つであろう。

3. 研究内容

○「いっぱい聞いて いっぱい話そう ○○！」(調べたことを発表しよう)

- ① 地区の自慢や言い伝え調べの実践
- ② 発表会の実践

4. 結 論

○「いっぱい聞いて いっぱい話そう ○○！」の発表会を聞いて、自分の地域のよさを伝えるために、子どもたちは練習や工夫を重ねる中で、相手にわかりやすく伝えるための「話す力」を高めることができた。

○発表練習を聞き合うことを通して、よさを認めたりアドバイスしたりすることで、よい聞き手が育ち、話し手と聞き手の間に心の交流が生じた。

○調べたことをもとに発表原稿を書いて発表したことは、自分の伝えたいことを筋道を立て文にまとめて「書く力」や「話す力」につながった。

○発表を異学年や保護者、地域の方に聞いていただき、地域への愛着の交流をすることで温かい人間関係づくりにつながった。

高さ2cmの正方形
または長方形

(分科会番号)

1-1

支部名と分会名を記載する

○○支部

○○○市(町・村) 立○○○小(中)学校

上段=メインレポーターの名前

下段=サブレポーターの名前

○ ○ ○ ○ ○
○ ○ ○ ○ ○

2.5cm